

中学生学力アップ教室・南部地区

北本市・ナイトスクール

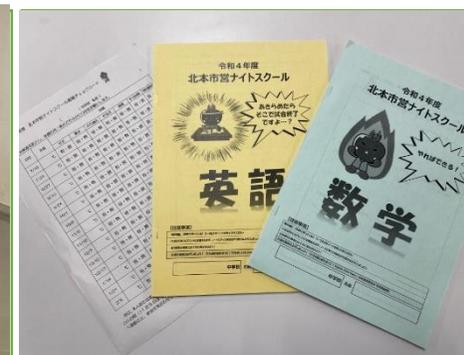
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全ての中学3年生の希望者を対象とし、北本市文化センター及び東部公民館を会場に7月から2月にかけて土曜日に実施した。 ●学習時間は2時間程度で、英語、数学の基礎的・基本的な内容を中心として学習支援を行った。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●申込時に担当指導主事から保護者へ直接説明する機会を設け、学習内容や安全面に関する確認等を行った。 ●生徒が参加しやすい環境を整え、安全に通えるようにするため、開催場所を市内東西の2か所に設定し、開始時刻を15時からとした。 ●基礎・基本の定着を図るため、県作成の「学力向上ワークシート」や入試対策の問題集を活用した。 ●個に応じた支援の充実のため、学習支援員を複数配置した。 ●感染対策として、参加生徒及び学習支援員には検温やマスク着用を徹底した。参加生徒の席の配置は1テーブル1人としソーシャルディスタンスを確保した。また、常時喚起や使用後の消毒作業を徹底した。 ●コーディネーター及び学習支援員が毎回打合せを実施し、学習内容の確認や参加生徒の学習状況等について情報共有を行った。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●コーディネーター及び学習支援員が密に連携を図ることで、参加生徒に対して個に応じたきめ細かな学習支援を行うことができた。 ●参加生徒の意識調査から「学習内容を理解することができた」「参加してよかった」が100%と満足度が非常に高かった。参加してよかった理由としては、「解き方の分からない問題を解けるようになったから」「学習支援員さんにつきっきりで教えてもらったから」等があった。 ●参加生徒の感想としては以下のようなものがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの点数が10点近く上がりよかった。 ・定期テストや模試等に基礎を固めた状態で臨めた。 ・たくさんの学習支援員さんがいて、アドバイスをもらったので、勉強がはかどった。

北本市基本情報

中学校数	4校	実施教室数	2教室
対象学校	4校	対象学年	3学年
平均開催日数	15日	参加人数(1日平均)	11人
活動場所	北本市文化センター 東部公民館	コーディネーター数	2人
ボランティア数	7人	ボランティアの属性	教員OB 地域住民



〔個別指導の様子〕



〔使用テキスト〕
〔健康観察カード〕

中学生学力アップ教室・西部地区

毛呂山町・サマースクール

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内中学 1～2 年生を対象に夏休み期間中の 8 月に 10 日間の学習支援を実施した。 ● 実施場所は町内 2 中学校で学校ごとに設置し、大学生の協力を得て実施した。 ● 大学生が企画した体験型英語学習やプリントを使った自主学習の支援を行った。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催場所は各校に設置することで生徒が通いやすい環境を実現した。 ● 事前に参加者の保護者の電話番号を各校で登録し、緊急時の連絡について整備を行った。 ● 感染対策として、参加生徒には事前の検温や常時マスクの着用を徹底した。 ● 各実施会場と教育委員会をオンラインでつなぎ、出欠席の確認や事務連絡などを行った。 ● 英語については、参加者が楽しく英語を使ってコミュニケーションできるようなプログラムを大学生に考案してもらい、大学生がフォローしながらも英語での謎解きや自分のことを英語で話す充実した授業が実施できた。 ● 町の観光パンフレットを中学生に英訳してもらい、町で実施した海外留学疑似体験事業に活用した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加生徒のアンケートから、「とても役に立った」、「どちらかという役に立った」という前向きな回答が 98%と高い水準となった。 ● 大学生を複数名配置したことで、生徒から自分がわからないところが、聞きやすくて、できないところができるようになったという意見があった。 ● 学力アップ教室に参加した生徒の感想として、「勉強に集中できた」、「勉強が楽しくなった」、「数学がわかるようになった」、「英語に興味を持てるようになった」、「家でも計画的に勉強できるようになった」など参加したことで、学力向上につながるきっかけとなっている。 ● 課題のプリントを各生徒が取り組み、約 100 問の問題について参加者が解答できるようになった。

毛呂山町基本情報

中学校数	2 校	実施教室数	2 教室
対象学校	2 校	対象学年	1～2 学年
平均開催日数	10 日	参加人数 (1 日平均)	30 人 / 1 教室
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	2 人
ボランティア数	20 人	ボランティアの属性	大学生



〔学習風景〕



〔各教室オンライン接続〕

中学生学力アップ教室・西部地区

越生町・学力アップ教室

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主に定期テスト前や、夏季休業日に開催し、学力向上を図っている。 ●県教委が作成した、「コバトン問題集」や「復習シート」も教材として活用し、課題にあわせて指導をすすめた。 ●基礎学力定着コースと活用力向上コースに分け指導を行った。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「コバトン問題集」に取り組む時間をコバトンタイムとし、タブレット端末を活用して国数英の指導を行った。コバトンタイムでは、学年別や教科別で本校の県学調の分析を行い、苦手分野を洗い出した。そして、復習シートを活用し、国語と数学において教科別に問題を作成して生徒に解かせた。 ●今年度は、特に、社会の教科に重点を置き、復習や発展問題を行い、学力の向上を図った。 ●苦手な生徒への配慮として、まずは自分で解かせ、次にグループでの学び合いを行った。 ●学級に入れない生徒へは、リモートでの授業を行い、支援員もついて学習の指導を行った。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●定期テスト前に補充学習を行うことで、途切れがちな学習習慣が付き、基礎学力の定着に役立っている。 ●テスト前の家庭学習のクラスの平均時間が、テストを行うごとにアップしている。 ●学力アップの成果として、11月に実施した社会の評価テストの伸びが6月と比較して、1年生は0.1ポイント、2年生は1.1ポイント、3年生は0.9ポイント上昇し、全学年とも上昇した。 ●リモートで参加する生徒にも学習支援員が指導しており、教室に入れない生徒の学習の保障をすることができている。 ●参加生徒の感想として以下のようなものが挙げられた。「先生からわかりやすく教えていただき、できるようになった。」「コバトン問題集は、日常生活に近い問題もあって、難しい問題に挑戦できてよかった。」

越生町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	15日	参加人数 (1日平均)	34人
活動場所	中学校教室	コーディネーター数	1人
ボランティア数	2人	ボランティアの属性	教員免許保有者等



〔学力アップ教室〕



〔リモートによる参加〕

中学生学力アップ教室・北部地区

熊谷市・くまなびスクール

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●教員OBや教員免許状所有者、学生等の有償ボランティアによる、生徒一人一人に対するきめ細かな指導をとおして、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図った。 ●市内全ての中学生に参加を呼びかけ、参加を希望した生徒を対象に、市内の中学校（16校）を会場に年間30回以内で週1回程度（1回2時間）実施した。 ●学習形態は国語、数学、英語を中心とした自学自習形式で、一部講義形式も取り入れた。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症対策として、入室前の手指消毒、開始前の健康観察、マスクの着用、換気、ソーシャルディスタンスの確保を徹底した。 ●会場は各中学校とし、実施日については各中学校が設定した。このことにより、学校の実情に応じた運営ができた。 ●市内の全生徒に配付してある「熊谷市学力向上テキスト」（熊谷市教育委員会作成）を教材として活用した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●経済的な理由等の限定をかけずに、市内全ての中学生に参加を呼びかけたため、学習の機会を保障し、個に応じたきめ細かな指導を行うことができ、市内の中学生全体の学力の底上げにつながった。県学力・学習状況調査の結果も良好であり、特に、参加生徒が多い学校の結果が良好である。 ●全国学力・学習状況調査（5月実施）で正答率の低い問題を抽出（国語4問、数学4問）し、1月に検証問題テストを実施した。 2年生の国語では、平均正答率が74.8%から97.1%に、数学では54.8%から95.8%に上昇した。くまなびスクールにより、学力が高まっている。 ●生徒からは、「先生方が親切で、一緒に考えてくれるのでやる気が出る。」、「先生が親身になって教えてくれるので、最後まで頑張ることができる。」と感想があった。

熊谷市基本情報

中学校数	16校	実施教室数	16教室
対象学校	16校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	24日	参加人数 (1日平均)	12人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	16人
ボランティア数	49人	ボランティアの属性	教員OB、教員免許状所有者、大学生



〔学習の様子〕



〔学力向上テキスト〕

中学生学力アップ教室・北部地区

秩父市 チチブ・アフターナイトスクール～夜勉～

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内中学1～3年生を対象に9月～12月で全6回実施。今年度は英語の学力向上に向けて学習支援を行った。 ●実施場所は秩父市歴史文化伝承館の研修室等を4級と5級の2つの教室に分けて設置した。 ●学習内容は、コーディネータが作成したプリント問題や市販のテキストを使用し、授業形式で実施。1回の講義時間は1時間30分(18時30分～20時)とした。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間実施のため、開催場所には十分な駐車場のある市役所の敷地内の施設を利用し、保護者の送迎に配慮した。 ●新型コロナウイルス感染症対策として、入口では検温や手指消毒を行い、教室内では十分なスペースをとれるようゆとりをもって座席を配置した。講義には全員マスクを着用し参加した。 ●第1回の講義終了時にアンケートを実施し、講義内容などの感想を聞くことができ、2回目以降の講義の改善に役立てた。 ●6回の講座終了後、希望者には同施設を準会場に英語検定を実施。学習の成果を実感できるよう、講義と検定を一連の事業として実施した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケートでは、「先生の教え方がわかりやすかったから、英検の過去問が前よりももっと上手にできるようになった。作っていただいたプリントがわかりやすかったです。先生が上手だねと褒めてくれてうれしかったです。・・」「ナイトスクールに行って、少し英語に自信ができました。・・行ってよかったと思える場所でした。」などの感想だった。 ●学習支援員・ボランティアを十分に配置できたので、一人一人にきめ細かな支援ができた。 ●9人の受講者全員が準会場での英検を申し込み、当日は8名が受験。6名が英検に合格した。

秩父市基本情報

中学校数	8校	実施教室数	2教室
対象学校	8校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	6日	参加人数 (1日平均)	9人
活動場所	公共施設	コーディネーター数	2人
ボランティア数	25人	ボランティアの属性	教職員OB 高校生 一般市民



(5級教室)



(4級教室)

中学生学力アップ教室・北部地区

深谷市・ステップアップレッスン

活動内容

- 学習に対して不安を持っている生徒や、更に自分の力を伸ばしていきたいと思っている生徒を対象に、国語・数学・英語・理科・社会について補習学習を実施した。特に、数学に重点を置き基礎的・基本的なプリントを中心としながら実施した。
- 週に2回、学校の実態に応じ曜日や時間を設定して実施した。また、月に2回を基本として土曜日及び夏休み、冬休み等の長期休業中も実施した。
- 学校によっては、対象学年や学習内容を工夫して複数のステップアップレッスンを準備し、実施した。
- 3年生は高校入試も見据えて実施した。

実施にあたっての工夫

- 実施計画や学習内容は担当教員、学校総合支援員と連携して計画した。
- 一人一人の課題に応じた指導を心掛け学習支援や指導に努めた。
- 間違えたところや分からないところをそのままにしないで理解して帰らせるよう学習を進めた。
- 授業の進度に合わせ忘れかけたころの復習を重点的に行った。
- 毎回学習プリントを用意し、その問題を解き、解答をもとに自己採点させ、誤り等を確認したうえで指導者に質問したり相互に教えあい理解を深めたりできるようにした。
- 3年生は、冊子にした問題集や各自が用意した教材・課題をもとに自主学習をすすめた。2学期後半から公立高校入試で数学の大問1を確実に解けるよう指導した。

事業を実施しての成果

- 令和4年度の事業のまとめにおける生徒アンケートより、「ステップアップレッスンに参加することにより基礎基本が定着できたか」に対し、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた生徒の割合は92.6%となり、ステップアップレッスンを通じて一人一人の基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上が成果として現れた。
- 同じく同アンケートより「ステップアップレッスンに参加したことについて」、「とても良かった」「良かった」と答えた生徒の割合は、94.3%と、充実感を得ている。
- 繰り返し学習が成果を上げている。

深谷市基本情報

中学校数	10校	実施教室数	10教室
対象学校	10校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	90日	参加人数 (1日平均)	21人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	10人
ボランティア数	10人	ボランティアの属性	教員OB 教員免許取得者 大学生



〔自己採点をしている生徒〕



〔理解を深めている様子〕

中学生学力アップ教室・北部地区

長瀬町・チャレンジ土曜セミナー

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内中学3年生を対象に11月から2月までの土曜日に10回、各回2時間程度学習支援を実施している。 ● 実施場所は、中学校近くの中央公民館とした。 ● 学習する内容は、基礎的な内容を中心としたテキストを使用し、高校入試を目指した基礎問題（数学・英語）を学んだ。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催場所は、生徒が自力で通室できる環境を実現した。 ● 全体指導で基礎的な内容の確認を行い、指導者2名が民間指導を行うことで、個別に質問できる時間を設けた。 ● 指導者は、入退室時や休憩中に生徒と簡単な英語でのコミュニケーションをとるなど、学習時間以外においても積極的に交流を図った。 ● 指導者は、高校入試に向けての心構えや反復学習の重要性を指導し、学習への意識改善を図った。 ● 感染症対策のため、自宅での検温や常時マスクの着用を徹底した。席の間隔を確保するとともに換気を徹底した。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習に苦手意識のある生徒を対象としていたが、回数が進むにつれ、生徒が挙手をし積極的に質問をする場面が増え、学習意欲の向上がみられた。 ● 全体指導で自己の課題を把握し、個別指導で解決に向けた支援を行うことで、一人ひとりの習熟度に合わせた指導ができた。 ● 参加生徒の感想として以下のようなものがある。 「基礎的なところが多かったので、単純な計算などについて今までより自信がついた」「少人数だったので、分からない問題をすぐに教えてもらえてよかった」「分からなかった問題が分かるようになった」 ● 学力アップ教室参加後の校内テストでは、数学は参加生徒の69%、英語は参加生徒の61%が受講前に比べ成績が上昇した。

長瀬町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
平均開催日数	10日	参加人数 (1日平均)	13人
活動場所	中央公民館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	2人	ボランティアの属性	外部講師



〔全体指導の様子〕



〔個別指導の様子〕

中学生学力アップ教室・北部地区

小鹿野町・中学生未来塾

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学1年生から3年生を対象とし、年間15回土曜日の午前中に、民間の外部講師や教員OBにより、英語、国語、数学の学習講座を実施している。 ● 1クラスを少人数で編成して、きめ細やかな学習指導を行っている。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語、国語、数学の3教科とも、それぞれ学年ごとに①基礎・基本コース②応用・発展コースの2コースに分かれて実施している。参加人数の多い3学年の数学は、基礎・基本コースを3クラスに分けて実施している。生徒個々の学習進度に合わせて、少人数できめ細やかな指導を行っている。(習熟度別指導) ● 地元の外部講師や教員OBにも協力を頂き、地域の力を活用した地域と一体となった教育活動の支援を行っている。 ● 地元の小鹿野高校との連携を図り、数学への興味・関心を一層高めるために、高校数学科の教師による数学特別講座を年2回実施している。 ● 遠距離の生徒も参加できるように、開催日にはスクールバスを運行し送迎している。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加生徒のアンケート調査では、「参加してよかった97%」「学習内容がわかりやすかった99%」「楽しく学べた98%」であり、高い水準の結果が得られた。また、中学生未来塾の良い点として、「わからないところを丁寧に教えてもらえる」「学校の復習ができる」「学校以外の先生に教えてもらえる」等が挙げられた。 ● 高校の先生による数学特別講座の感想には、「高校数学の考え方を知ることができてためになった」「大学入試の問題に挑戦できて楽しかった」等があり、数学の面白さや奥の深さを感じ取った様子が伺えた。 ● 受講生の約72%の生徒が英語検定、約24%の生徒が漢字検定に挑戦し、検定取得への意欲の高まりが見られる。 ● この事業をとおして、生徒の学習習慣の確立に向けて地域全体で支援するきっかけづくりになっている。 ● 保護者の感想として、以下のようなものがある。「丁寧に教えてもらって参加させてよかった」「このような講座を設けてもらい有難い」「来年度も参加させたい」

小鹿野町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	7教室
対象学校	1校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	15日	参加人数(1日平均)	66人
活動場所	小鹿野文化センター	コーディネーター数	1人
ボランティア数	12人	ボランティアの属性	外部講師 教員OB



【中学生未来塾開講式の様子】



【3年生数学特別講座の様子】

中学生学力アップ教室・北部地区

神川町・中学生学力アップ教室

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内中学3年生を対象に9月～2月で週2回学習支援を実施している。(新型コロナ感染拡大防止のため10月から12月に短縮) ● 場所は町内1か所設置し、実施した。 ● 学習する内容は、生徒が自ら持参する自習型。今年度は町から貸与されている一人1台タブレットを持参してタブレットの中の学習ワークなどに取り組む生徒が増えた。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催場所は町の中心地に設置することで生徒が通いやすい環境を実現した。 ● 事前に参加者の保護者のメールアドレスを教育委員会へ登録し、緊急時の連絡について整備を行った。 ● 学習支援員(教員OB)との連絡調整を密に図り、一人一人の状況や成果、課題を共有した。 ● 感染対策として、参加生徒には事前の検温や常時マスクの着用を徹底した。席の配置もソーシャルディスタンスを保てるよう広い部屋を設定した。 ● 町から貸与しているタブレットの持ち込みを許可し、学習中、分からないことがあるときにすぐに自分で調べて解決することができた。また、タブレットの中のアプリを利用し、練習問題へ取り組むことも可能とした。問題集などを家で購入しなくてもたくさんの種類の問題へ取り組むことができた。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加生徒の保護者から、「子どもが前よりも勉強へ対して前向きになった」などのお電話をいただいた。 ● 参加生徒の意識調査から、「参加してよかった100%」「学習内容を理解することができた94.1%」と高い水準となった。その他「先生から分かるまで丁寧に教えてもらえるので良かった。」「学校ではなかなか先生へ質問できないが、この教室ではちょっと分からない時でも気軽に聞けるので良い。」「先生方が一人一人に丁寧に教えてくれるので勉強が好きになった。」という感想記入もあり、高い満足度だったと捉えられる。

神川町基本情報

中学校数	1校	実施教室数	1教室
対象学校	1校	対象学年	3学年
平均開催日数	10日	参加人数(1日平均)	12人
活動場所	就業改善センター	コーディネーター数	2人
ボランティア数	2人	ボランティアの属性	学習支援員 大学生



〔感染対策もしながら学習に集中〕



〔教育長の英語特別講座〕

中学生学力アップ教室・北部地区

上里町・中学生学力アップ教室

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●町内中学校3年生を対象とし、7月から2月にかけて、週2回（テスト前には週3回）、放課後の2時間程度、上里町立図書館で5教科を中心とした学習支援を実施。 ●町内には中学校が2校あることから、中学校ごとに部屋を分けて行っている。 ●学習する教科・内容に関しては、生徒が5教科の中からその日に行うものを自身で決め、教材を持参。生徒は学校の宿題及び学校での学習に関する予習や復習を行い、分からないところについては、学習支援員に質問する形で実施。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●開催場所を、町の中央に位置する上里町立図書館にして、生徒が通いやすくした。 ●事前に参加する生徒の保護者のメールアドレスを登録し、緊急時等の連絡として活用した。 ●毎回教室を開催する前に学習支援員打合せ会を実施し、生徒の様子や指導方法の確認等を行った。 ●「自力で家庭学習に取り組める力を育てる」をベースとして、各自で取り組みながら、分からないところを自分から聞ける態度を養う中で、学習の仕方を学ばせ、「これが分かった」と実感できるような支援を行った。 ●教科の時間割は設けず、5教科のうち、各自が勉強したい教科を持参させて、個に対応した支援を行った。 ●感染対策のため、座席を一つずつ空けて座ったり、支援員は生徒と対面にならないように横に座って支援したりした。また、机やいすは使用後に消毒を行った。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●本年度で「上里町中学生学力アップ教室」8年目となり、生徒・保護者の事業への認知度と有効性の認識が高まった。 ●上里町で取り組んでいる「学び合い学習」を基本に、学力アップ教室でも分からないところは互いに聴き合い、主体的に学習を進める力がついている。 ●保護者アンケートから、学力アップ教室に参加した生徒の76%が学習への意欲が高まったと答えている。また、88%の生徒が家庭学習の取組に良い変化が見られたと答えていることから、事業の効果が見られる。

上里町基本情報

中学校数	2校	実施教室数	2教室
対象学校	2校	対象学年	3学年
平均開催日数	65日	参加人数 (1日平均)	31人
活動場所	上里町立 図書館	コーディネーター数	1人
ボランティア数	18人	ボランティアの属性	教員OB 大学生



〔学習の様子〕
生徒の質問に対して学習支援員が丁寧に解説している。



〔机・いすの消毒〕
机やいすを使った後は、協力して消毒を行っている。

中学生学力アップ教室・北部地区

寄居町・「より・E土曜塾」

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学3年生の学力を向上させ、希望する進路を実現させたいという強い思いから開設している取組である。 ● 年間40回の講座を実施している。 ● 内容は、中間対策講座、進路対策講座、英検対策講座、実力テストと充実している。 ● 10月英検へ向けての対策講座は中学3年生を対象に、1月英検へ向けての対策講座は中学2年生を対象としている。 ● 12月から「体験」という形で、中学2年生にも土曜塾を開講している。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度は、すべての生徒が参加しやすいように、従来の集合型の授業に加え、家庭でも受講できるオンライン型の授業と、都合のよい時間に視聴できるオンデマンド型の授業を組み合わせたハイブリッド形式で展開している。 ● 新型コロナウイルス感染症濃厚接触者となった生徒がオンライン授業で参加したり、部活動や家庭の都合等で参加できなかった生徒がオンデマンド配信を視聴したりと、柔軟に対応することができている。 ● 生徒の募集や、実力テストの後日受検など、町教委と学校とで連携して取り組んでいる。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加した生徒からは「質問するとわかるまで教えてくれたので、成績がとて上がった。」「楽しいし、よく分かるから続けたい。」「お陰様で、志望校に合格出来た。」、保護者からは「受講生無料の学習支援に、本当に感謝している。」「回数が増えるとよい。」等の声が寄せられた。 ● 令和2年度に受講した生徒の98%が、令和3年度に受講した生徒の100%が、希望する進路を実現することができた。 ● 令和4年度の中3英検3級以上取得率が40.3%（前年比+9.4%）となった。

寄居町基本情報

中学校数	3校	実施教室数	8教室 (午前4教室、午後4教室)
対象学校	3校	対象学年	2～3学年
平均開催日数	40日	参加人数 (1日平均)	60人
活動場所	寄居町役場 会議室	コーディネーター数	1人
ボランティア数	16人	ボランティアの属性	外部講師



〔対面型授業の様子〕



〔オンライン授業の様子〕

中学生学力アップ教室・東部地区

久喜市・「くき本樹塾」

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の全中学校を対象とし、5月中旬から2月にかけて、週1回、2時間程度を目安に、各中学校の教室で国語・社会・数学・理科・英語の問題集やコーディネーターの自作ワークシート、タブレット端末を活用し、個別の学習支援を実施した。 ●自主学習を主な活動にしているが、生徒の様子によって、コーディネーターの判断で一斉指導等も適宜実施した。
実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校に専属のコーディネーターと指導員を配置したことで、支援員と生徒、学校と支援員、支援員同士の信頼関係が構築された。これにより支援員が生徒一人一人の実態に合った学習支援を行えるとともに、学校と情報共有が積極的に図られ、中間・期末テストの範囲を把握した上で効果的な支援に当たることができた。 ●実施する曜日や時間を学校ごとに固定したことで定期的な開催となり、生徒の学習習慣の定着が図られた。 ●多くの学校では、くき本樹塾に教員が参加し、学習支援員をサポートする取組を実施した。この取組を通じて、生徒への支援が充実するとともに、教員にとっては本樹塾の活動状況や生徒の様子を把握することができ、日頃の授業での指導等につなげることができた。
事業を実施しての成果	<ul style="list-style-type: none"> ●参加生徒の意識調査から、本事業に参加したことで、学習内容を理解することができたと回答した生徒の割合が約98.7%（12月現在）と高い水準であった。 ●埼玉県学力・学習状況調査と同様の性質をもつ、久喜市独自の学力調査「久喜市ステップアップテスト（KST）」の結果において、本事業参加生徒は市内平均と比較して、中1は0.6レベル、中2は0.6レベル、中3は0.5レベル学力の伸びが大きかった。 ●参加生徒の感想として以下のようなものがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・「分らなかつた問題も、教わつたやり方で考えてみると、スラスラ解けたのでうれしかったです。」 ・「久々に勉強できたという気持ちになつた。」 ・「テストの間違ひを直して、理解できた。」

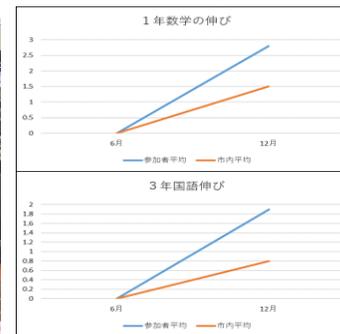
久喜市基本情報

中学校数	10校	実施教室数	10教室
対象学校	10校	対象学年	1～3学年
平均開催日数	30日	参加人数 (1日平均)	29人
活動場所	各中学校教室	コーディネーター数	8人
ボランティア数	41人	ボランティアの属性	元教員 教員免許保有者 大学生



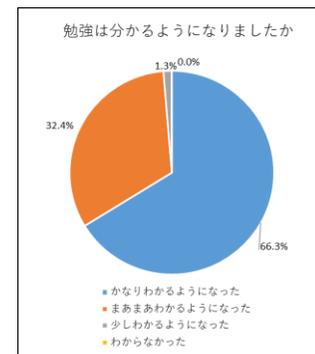
【学習の様子】

学習支援員によるきめ細やかな個別指導により、学習意欲や学力の向上につながっている。



【学力の伸び】

久喜市独自のテストにおいて各教科で伸びが見られ、苦手分野も改善に向かっている。



【生徒意識調査】

98%以上の生徒が「分かるようになった」と回答している。